

ディーゴ ガイド



2026.10.19-25

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior
Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II
Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(1〜3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

L T G Guide

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をあげます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?) 1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

Cell Group Guide

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか?

Family Worship

28:1 ダビデは、イスラエルのすべての長、すなわち、各部族の長、王に仕える各組の長、千人隊の長、百人隊の長、王とその子たちの全財産と家畜の担当者の長、宦官、有力者、およびすべての勇士たちをエルサレムに召集した。

28:2 ダビデ王は立ち上がって、こう言った。「私の兄弟たち、私の民よ。私の言うことを聞きなさい。私は【主】の契約の箱のため、私たちの神の足台のために安息の家を建てる志を持ち、建築の用意をしてきた。

28:3 しかし、神は私に仰せられた。『あなたはわたしの名のために家を建ててはならない。あなたは戦いの人であり、人の血を流してきたからである。』

28:4 イスラエルの神、【主】は、私の父の全家から私を選び、とこしえにイスラエルを治める王としてくださった。主はユダの中から君たる者を選び、ユダの家の中で私の父の家を、父の子たちの中で私を喜びとし、全イスラエルを治める王としてくださった。

28:5 【主】は私に多くの子を授けてくださったが、私のすべての子どもの中から、私の子ソロモンを選び、イスラエルを治める【主】の王座に就けてくださった。

28:6 そして、私にこう言われた。『あなたの子ソロモンが、わたしの家とわたしの庭を造る。わたしが彼をわたしの子として選び、わたしが彼の父となるからだ。』

28:7 もし彼が、今日のように、わたしの命令と定めを行おうと固く決心しているなら、わたしは彼の王国をとこしえまでも確立しよう。』

28:8 今、【主】の会衆である全イスラエルの前で、私たちの神が聞いておられるこの場所で言う。あなたがたは、自分たちの神、【主】の命令をすべて守り、求めなさい。それは、あなたがたがこの良い地を所有し、あなたがたの後、とこしえまでもあなたがたの子孫に受け継がせるためである。

28:9 わが子ソロモンよ。あなたの父の神を知り、全き心と喜びの気持ちをもって神に仕えなさい。【主】はすべての心を探り、すべての思いの動機を読み取られるからである。もし、あなたが神を求めるなら、神はあなたにご自分を現される。もし、あなたが神を離れるなら、神はあなたをとこしえまでも退けられる。

28:10 今、心に留めなさい。【主】は聖所となる宮を建てるために、あなたを選ばれた。勇気を出して実行しなさい。」

ダビデは神殿建築のためにリーダーたちを集めて、その働きが進むように訓戒を与えました。自分が王でなくなったら、その権力もなくなるのですから、後は次期王に全責任を負わせれば良いとも言えますが、彼はそうしませんでした。自分のできる限りのことを、また神の国ために最善をなしたのです。

これをソロモンの側から見ますと、神殿を建てたのは自分の時代ではありますが、そのためにはダビデの時代の備えがあったのです。

このように神様の働きは受け継がれてゆくものです。自分が手を引いたら人任せというのではなく、ダビデのように責任を持ちましょう。またソロモンのように自分の実績にも謙遜になりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



20日 火曜

歴代 I



28:11 ダビデはその子ソロモンに、玄関広間、神殿、宝物室、屋上の間、内部屋、贖いの間などの設計図を授けた。

28:12 設計図は、すべて御霊によって彼に示された。すなわち、【主】の宮の庭のこと、周囲のすべての脇部屋のこと、神の宮の宝物倉のこと、聖なるささげ物の宝物倉のこと、

28:13 祭司とレビ人の組分けのこと、【主】の宮の奉仕のすべての仕事のこと、【主】の宮の奉仕に用いるすべての用具のことである。

28:14 金については、各種の奉仕に用いるすべての器具に使う金の重さが、すべての銀の器具については、各種の奉仕に用いるすべての器具の重さが示され、

28:15 金の燭台とその上にある金のともしび皿の重さは、一つ一つの燭台とその上にあるともしび皿の重さが、銀の燭台については、一つ一つの燭台の用途別に燭台とその上にあるともしび皿の重さが示されていた。

28:16 並べ供えるパンの機の金の重さは、一つ一つの机ごとに、銀の机に用いる銀の重さとともに示されていた。

28:17 肉刺し、鉢、壺は純金であるが、金の杯については、それぞれの杯の重さ、銀の杯についても、それぞれの杯の重さ、

28:18 香をたく祭壇については、精錬された金の重さが示されていた。また、翼を広げて【主】の契約の箱をおおう金のケルビムの車の設計図も示されていた。

28:19 「これらすべては、私の上に臨んだ【主】の手によって書き物になっていて、仕事の全貌が理解できるはずだ。」

28:20 それから、ダビデはその子ソロモンに

言った。「強く、雄々しく、事を成し遂げなさい。恐れてはならない。おののいてはならない。神である【主】、私の神が、あなたとともにいてくださるのだから。主は、あなたを見放さず、あなたを見捨てず、【主】の宮の奉仕に関わるすべての仕事を完成させてくださる。

28:21 見よ。神の宮のあらゆる奉仕のために祭司とレビ人の各組がいる。どんな仕事でも、あらゆる奉仕のために知恵をもって進んで事に当たる者がみな、あなたとともにいる。首長たちとすべての民は、あなたの命令すべてに従う。」

ダビデは「設計図を授け」ました。このように具体的な内容を授けましたし、また「強く、雄雄しく…」とあるように、心の励ましも授けたのです。ここに本当の引継ぎがあります。

教会はイエス様の体ですから、その働きは常に引き継がれていって保持されるものです。それは実務的な面と内面とがあるのです。教会でも他の人の働きを励ますように、心に沿った受け渡しをしてゆきましょう。これは教会以外でも言えることでしょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 21日 水曜

歴代Ⅰ



29:1 ダビデ王は全会衆に言った。「わが子ソロモンは、神が選ばれた、ただ一人の者であるが、まだ若く力もない。しかしこの工事は大きい。なぜなら、この宮は人のためではなく、神である【主】のためのものだからである。

29:2 私は全力を尽くして、私の神の宮のために準備をしてきた。すなわち、金製品のための金、銀製品のための銀、青銅製品のための青銅、鉄製品のための鉄、木製品のための木、縞めう、色とりどりの象眼細工用の石、あらゆる宝石、大理石などを大量に準備した。

29:3 そのうえ、私は、私の神の宮に対する喜びとして、聖なる宮のために準備したすべてのものに加えて、自分の宝としていた金銀を、私の神の宮のために献げる。

29:4 建物の壁をおおうため、オフィルの金の中から金三千タラントと、精錬された銀七千タラント、

29:5 金製品のための金、銀製品のための銀、あらゆる職人の手仕事のためのものを献げる。今日、自ら進んで、その手にあふれるほど

【主】に献げる者はいないか。」

29:6 すると、一族の長たち、イスラエル各部族の長たち、千人隊と百人隊の長たち、さらに王家の執務の長たちは、自ら進んで、

29:7 神の宮の奉仕のために、金五千タラント一万ダリク、銀一万タラント、青銅一万八千タラント、鉄十萬タラントを献げた。

29:8 宝石を持っている者は、これをゲルシオン人エヒエルの手託して【主】の宮の宝物倉に献げた。

29:9 民は、長たちが自ら進んで献げたことを

喜んだ。彼らが全き心をもって、自ら進んで【主】に献げたからである。ダビデ王も大いに喜んだ。

このように神殿建築は、進んでささげる献げものによって実現しました。ダビデのように権力と財力を持った者がまずささげたことは、民の励ましとなったことでしょう。

現代の神殿とは神の救いを表わすもの、すなわち教会であり教会の働きです。教会もこのように進んでささげられる献げものによって成り立っているのです。そのためには民の心に恵を感じる必要があります。また、ダビデが「ソロモンは…若く」と言ったように、今ある現実をも民が理解する必要があります。

神の恵みと現実の理解。これが教会にも必要です。そのような思いで主の神殿である教会の働きを建て上げましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



29:10 ダビデは全会衆の前で【主】をほめたたえた。ダビデは言った。「私たちの父イスラエルの神、【主】よ。あなたがとこしえからとこしえまで、ほめたたえられますように。」

29:11 【主】よ、偉大さ、力、輝き、栄光、威厳は、あなたのものです。天にあるものも地にあるものもすべて。【主】よ、王国もあなたのものです。あなたは、すべてのものの上に、かしらとしてあがめられるべき方です。

29:12 富と誉れは御前から出ます。あなたはすべてのものを支配しておられます。あなたの御手には勢いと力があり、あなたの御手によって、すべてのものが偉大にされ、力づけられるのです。

29:13 私たちの神よ。今、私たちはあなたに感謝し、あなたの栄えに満ちた御名をほめたたえます。

29:14 このように自ら進んで献げる力を持っているとしても、私は何者なのでしょう、私の民は何者なのでしょう。すべてはあなたから出たのであり、私たちは御手から出たものをあなたに献げたにすぎません。

29:15 私たちは、父祖たちがみなそうであったように、あなたの前では寄留者であり、居留している者です。地上での私たちの日々は影のようなもので、望みもありません。

29:16 私たちの神、【主】よ。あなたの聖なる御名のために宮を建てようと私たちが準備したこの多くのものすべては、あなたの御手から出たものであり、すべてはあなたのものです。

29:17 わが神よ。あなたは心を試される方で、

真っ直ぐなことを愛されるのを私はよく知っています。私は直ぐな心で、これらすべてを自ら進んで献げました。また今、ここにいるあなたの民が、自ら進んであなたに献げるのを、私は喜びのうちに見ました。

29:18 私たちの父祖アブラハム、イサク、イスラエルの神、【主】よ。御民が心にめぐらす思いをとこしえに守り、彼らの心をしっかりとあなたに向けさせてください。

29:19 わが子ソロモンに全き心を与え、あなたの命令とさとしと掟を守らせて、すべてを行わせ、私が準備してきた宮を建てさせてください。」

「このように自ら進んで献げる力を持っているとしても、私は何者なのでしょう、私の民は何者なのでしょう。すべてはあなたから出たのであり、私たちは御手から出たものをあなたに献げたにすぎません。」と、ダビデは民の前で祈りました。これは世の王とは逆の姿勢です。世の指導者は自分の力を示してリーダーシップを確立しようとしませんが、神に建てられた指導者は神の力を示すのです。

そして神の民はこのような指導者には従うものなのです。これは神の国の原理ですから、人間関係、子育てなど全てに当てはまることです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 23日 金曜

歴代Ⅰ

29:20 そして、ダビデは全会衆に「あなたがたの神、【主】をほめたたえよ」と言った。すると全会衆は、父祖の神、【主】をほめたたえ、【主】と王の前に身をかがめてひれ伏した。

29:21 その翌日、彼らは【主】にいけにえを献げ、【主】に全焼のささげ物を献げた。雄牛千頭、雄羊千匹、子羊千匹、これらに添える注ぎのぶどう酒、また全イスラエルのための多くのいけにえを献げた。

29:22 その日、彼らは大いに喜んで、【主】の前で食べたり飲んだりし、改めてダビデの子ソロモンを王とし、【主】の前で油を注いで君主とした。また、ツァドクを祭司とした。

29:23 こうしてソロモンは【主】の王座に就き、父ダビデに代わって王となった。彼は榮え、全イスラエルは彼に聞き従った。

29:24 すべての首長たち、勇士たち、そしてダビデ王のすべての息子たちも、ソロモン王に忠誠を誓った。

29:25 【主】はソロモンを全イスラエルの目の前に非常に大いなる者とし、彼より前にイスラエルを治めたどの王にも見られなかった王の威厳を、彼に与えられた。

29:26 このようにして、エッサイの子ダビデは全イスラエルを治めたのである。

29:27 彼がイスラエルの王であった期間は四十年であった。ヘブロンで七年治め、エルサレムで三十三年治めた。

29:28 彼は幸せな晩年を過ごし、齢も富も誉れも満ち足りて死んだ。彼の子ソロモンが代わって王となった。

29:29 ダビデ王についての事柄は、最初から



最後まで、『予見者サムエルの働き』、『預言者ナタンの働き』、『先見者ガドの働き』にまさしく記されている。

29:30 そこには、彼の統治のすべてとその功績、また、彼とイスラエル、および諸国のすべての王国の上に過ぎていった時代についても記されている。

「こうしてソロモンは【主】の王座に就き、父ダビデに代わって王となった。彼は榮え、全イスラエルは彼に聞き従った。」とあります。ここまでソロモンのことはほとんど出てこないで、話題はダビデのことです。ソロモン王はダビデによって確立したのです。神の国の引継ぎとはこのようなものです。その計画も力も人選も神によるものだからです。誰かが1人でできるものではないからです。

ダビデの最後の働きがこのようにソロモンを立てることであったのは重要です。私たちは自分が手を引いたあと、またはいなくなった後を考えなくてはなりません。その後もしっかり続くようであってこそ、イエス様の体としての自覚があるということです。

教会には新しい働き人が起こされることが必要です。今持っている奉仕や立場を次の人に受け渡してゆくことになるでしょう。このダビデのようでありたいと思います。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 24日 土曜

雅歌

1:1 ソロモンの雅歌

1:2 あの方が私に口づけしてくださったらよいのに。あなたの愛は、ぶどう酒にまさって麗しく、

1:3 あなたの香油は香り芳しく、あなたの名は、注がれた香油のよう。そのため、おめたちはあなたを愛しています。

1:4 私を引き寄せてください。私たちはあなたの後から急いで参ります。王は私を奥の間に伴われました。私たちはあなたにあって楽しみ喜び、あなたの愛をぶどう酒にまさってほめたええます。あなたは心から愛されています。

1:5 エルサレムの娘たち。ケダルの天幕のように、ソロモンの幕のように、私は黒いけれども美しい。

1:6 あなたがたは私を見ないでください。私は日に焼けて、浅黒いのです。母の息子たちが私に怒りを燃やし、私を彼らのぶどう畑の番人にしたのです。でも、私は自分のぶどう畑の番はしませんでした。

1:7 私のたましいの恋い慕う方。どうか私に教えてください。どこで羊を飼っておられるのですか。昼の間は、どこでそれを休ませるのですか。なぜ、私はあなたの仲間の羊の群れの傍らで、顔覆いをつけた女のようにしていなければならないのでしょうか。

1:8 女の中で最も美しいひとよ。あなたが知らないのなら、羊の群れの足跡を追って出て行き、羊飼いたちの住まいの傍らで、あなたの子やぎを飼いなさい。

1:9 わが愛する者よ。私はあなたをファラオの戦車の間にいる雌馬になぞらえよう。



1:10 飾り輪のあるあなたの頬は美しい。宝石の首飾りがかけられたあなたの首も。

1:11 私たちは金の飾り輪をあなたのために作ろう。そこに銀をちりばめて。

1:12 王が長椅子に座っておられる間、私のナルドは香りを放っていました。

1:13 私の愛する方は、私にとって、私の乳房の間に宿る没薬の袋。

1:14 私の愛する方は、私にとって、エン・ゲディのぶどう畑にあるヘナ樹の花房。

1:15 ああ、あなたは美しい。わが愛する者よ。ああ、あなたは美しい。あなたの目は鳩。

1:16 私の愛する方。ああ、あなたはなんと美しく、慕わしい方。私たちの寝床も青々としています。

1:17 私たちの家の梁は杉の木、私たちの垂木は糸杉。

キリストが教会、すなわちクリスチャンをいかに愛しているかを表わしたのが雅歌です。ここにあるような心からの愛を受けていることを感じ取り、また感謝しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



2:1 私はシャロンのばら、谷間のゆり。
2:2 わが愛する者が娘たちの間にいるのは、
茨の中のゆりの花のようだ。
2:3 私の愛する方が若者たちの間におられる
のは、林の木々の中のりんごの木のように。
その木陰に私は心地よく座り、その実は私の
口に甘いのです。
2:4 あの方は私を酒宴の席に伴ってください
ました。私の上に翻る、あの方の旗じるしは
愛でした。
2:5 干しぶどうの菓子で私を力づけ、りんご
で元気づけてください。私は愛に病んでいる
からです。
2:6 ああ、あの方の左の腕が私の頭の下に
あって、右の腕が私を抱いてくださるとよい
のに。
2:7 エルサレムの娘たち。私は、かもしかや
野の雌鹿にかけてお願いします。揺り起こし
たり、かき立てたりしないでください。愛が
そうしたいと思うときまでは。
2:8 私の愛する方の声がする。ほら、あの方
が来られる。山を跳び越え、丘の上を跳ねて。
2:9 私の愛する方は、かもしかや若い鹿のよ
うです。ほら、あの方は私たちの壁の向こう
でじっと立ち、窓からうかがい、格子越しに
見えています。
2:10 私の愛する方は、私に語りかけて言われ
ます。「わが愛する者、私の美しいひとよ。
さあ立って、出ておいで。
2:11 ご覧、冬は去り、雨も過ぎて行ったから。
2:12 地には花が咲き乱れ、刈り入れの季節が
やって来て、山鳩の声が、私たちの国中に聞
こえる。

2:13 いちじくの木は実をならせ、ぶどうの
木は花をつけて香りを放つ。わが愛する者、
私の美しいひとよ。さあ立って、出ておい
で。
2:14 岩の裂け目、崖の隠れ場にいる私の鳩
よ。私に顔を見せておくれ。あなたの声を
聞かせておくれ。あなたの声は心地よく、
あなたの顔は愛らしい。」
2:15 私たちのために、あなたがたは狐を捕
らえてください。ぶどう畑を荒らす小狐を。
私たちのぶどう畑は花盛りですから。
2:16 私の愛する方は私のもの。私はあの方
のもの。あの方はゆりの花の間で群れを
飼っています。
2:17 私の愛する方よ。そよ風が吹き始め、
影が逃げ去るまでに、あなたは戻って来て、
陰しい山々の上のかもしかや若い鹿のよう
になってください。

ここにあってのようにキリストと教会の愛は、夫婦
の愛によって表されています。夫婦の愛を表して
神の栄光を表わしましょう。これから結婚する人
はそのような結婚を願い求めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願い
など）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのど
の部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

